

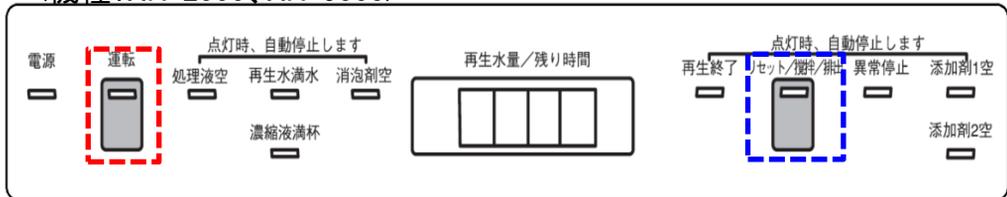
## 「E-1」表示について

稼働中に「E-1」が表示された場合、以下の方法にて対処ください。

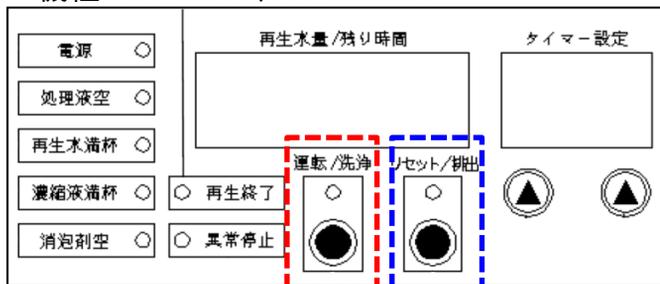
①稼働後10秒～1分程度でエラーが発生する場合は、エラー表示を解除し、直ぐに再度稼働させ、これを何度か繰り返します。

(エラー発生後、**運転スイッチ**もしくは**リセットスイッチ**を1回押下にてエラー解除します)

<機種: XR-2000、XR-5000>



<機種: XR-1200J、XR-5000 II>

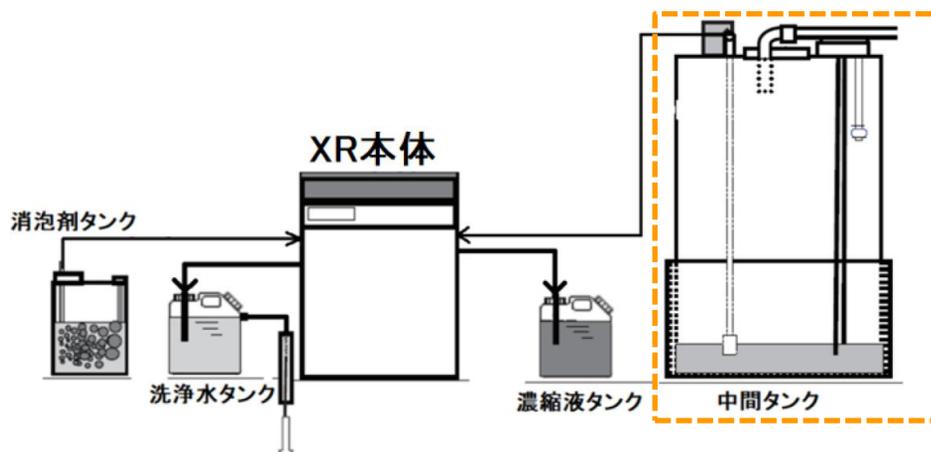


②エラーが解消されない場合、XR-1200J、XR-2000については、次頁以降を参照し、「E-1 水流タンクエラーの対処方法」を実施します。

- ・[XR-1200J「E-1 水流タンクエラーの対処方法」](#) 本資料p.2～p.3
- ・[XR-2000「E-1 水流タンクエラーの対処方法」](#) 本資料p.4～p.5

ご使用の機器がXR-5000、XR-5000 IIの場合は、③へ進みます。

③再度エラーが発生する場合は、**中間タンク(円筒型の大きい容器)**内の液量をご確認頂き、弊社コンタクトセンターまでご連絡ください。



# XR-1200J「E-1 水流タンクエラーの対処方法」

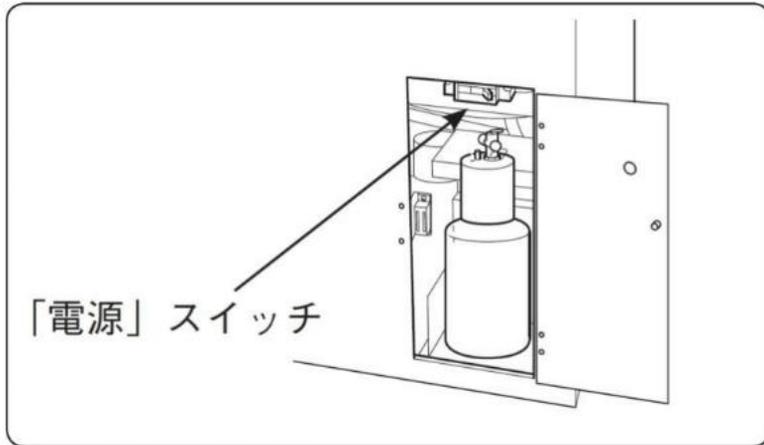
## ⚠ 警告



### 感電注意

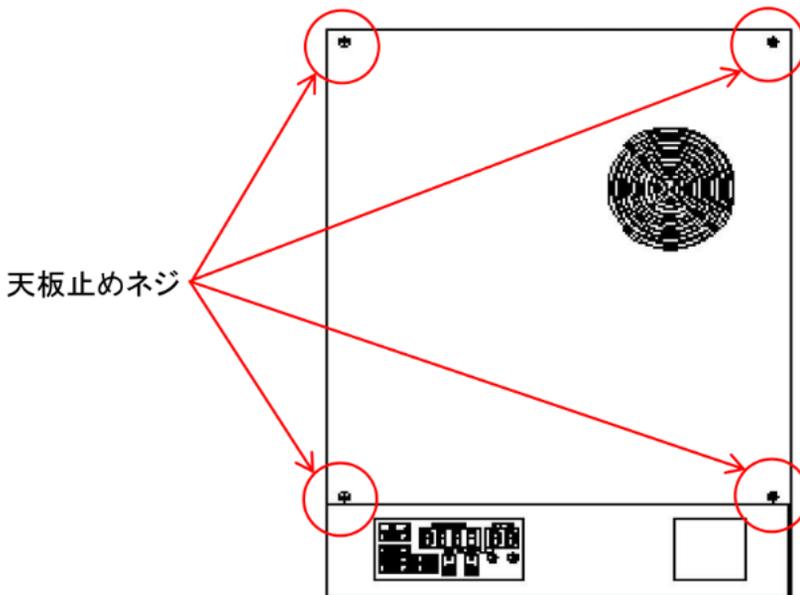
濡れた手で電源スイッチを操作したり、コンセントから電源プラグを抜いたり差したりしないでください。感電の恐れがあります。

必要工具: No2 プラスドライバー ノズル付きジョッキに水を1.5リットル



①前扉を開いて「電源」スイッチを「切」にし、電源をOFFにします。

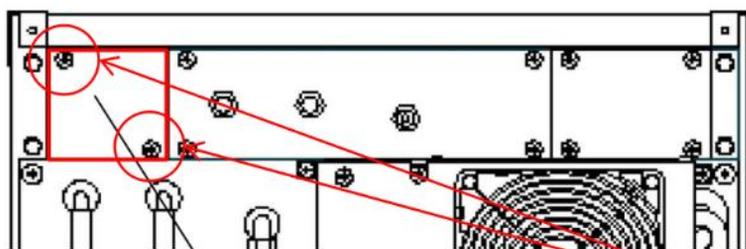
②前扉を閉じます。



③天板止めネジを4箇所取り外します。

注意: ネジを落とさないようにご注意ください

装置上面後方図



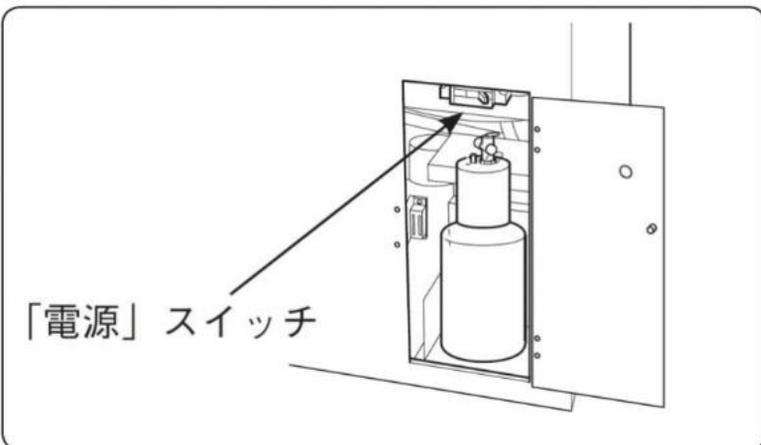
水流タンク注水口蓋

④注水口蓋止めネジを2箇所外します。

⑤この下にXR内で使用する水のタンクがあります。  
ノズルを差し込み、ゆっくり給水してください。

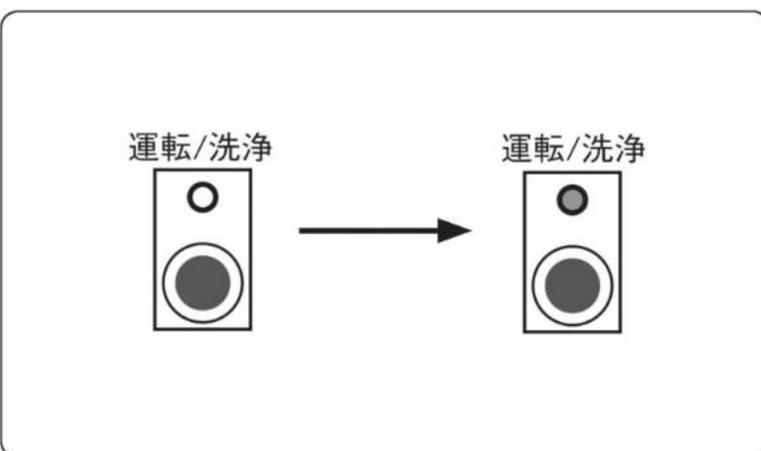
入れすぎても機械内部に漏れ出す事は御座いません。

注水口蓋止めネジ



⑥注水口蓋、天板を取り付けます。

⑦電源スイッチを「入」にし、電源をONにします。  
電源が入ると「電源」ランプが点灯します。



⑧運転ボタンを押すと運転が開始されます。

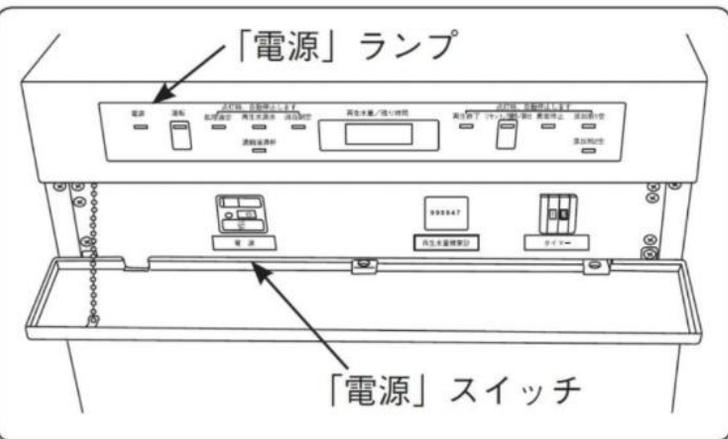
# XR-2000「E-1 水流タンクエラーの対処方法」

## ⚠ 警告

### ⚡ 感電注意

濡れた手で電源スイッチを操作したり、コンセントから電源プラグを抜いたり差したりしないでください。感電の恐れがあります。

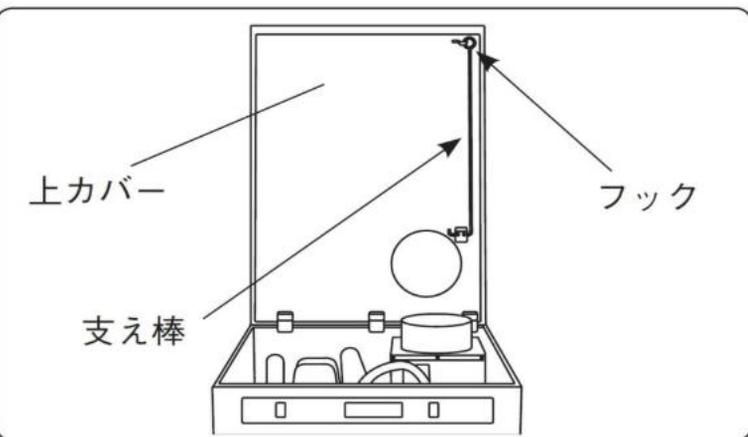
**必要工具: No2 プラスドライバー ノズル付きジョッキに水を1.5リットル**



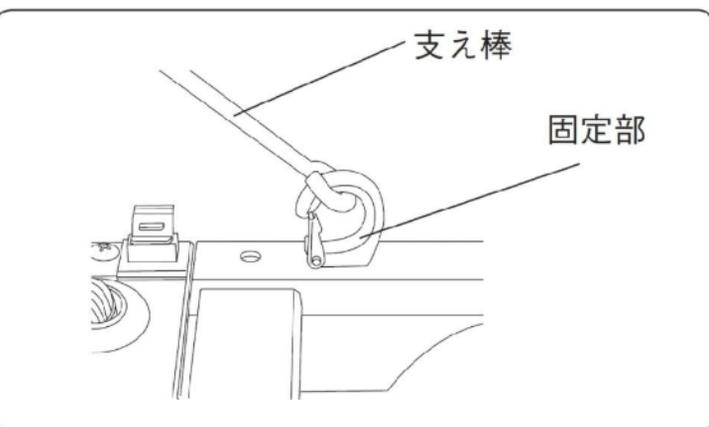
- ①電源部カバーを開いて「電源」スイッチを「切」にし電源をOFFにします。

電源が切れると、「電源」ランプが消灯します。

- ②電源カバーを閉じます。



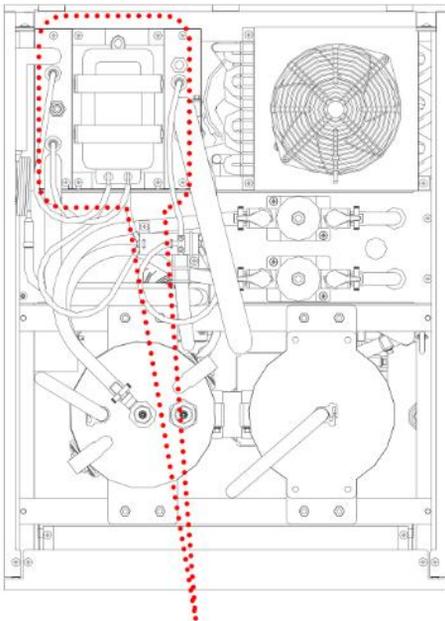
- ③上カバーを開き、片手で上カバーを持って、支え棒をフックからはずします。



- ④外した支え棒を本体内部の固定部に取り付けます。

## ⚠ 注意

支え棒を確実に固定部に取り付けてから手を離してください。途中で手を離すと、上カバーが閉じてケガをする恐れがあります。



- ⑤左奥に曝気ポンプが上下2段になってあります。  
それらを固定しているブラケット固定ネジを外します。

**注意: ネジを落とさないようにご注意ください**

- ⑥ケーブル、ホースはそのまま、  
ジョッキのノズルが中に入る位ずらして下さい。(約20mm程度)

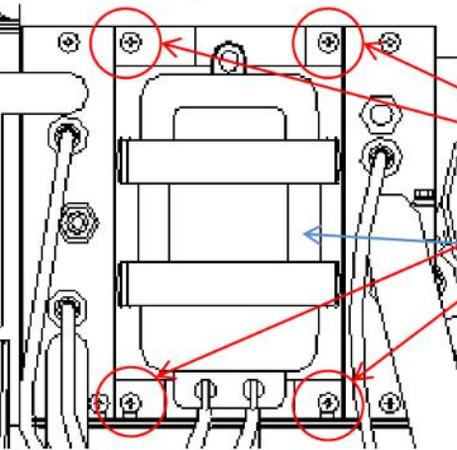
- ⑦この下にXR内で使用する水のタンクがあります。  
ノズルを差し込み、ゆっくり給水してください。

入れすぎても機械内部に漏れ出す事は御座いません。

- ⑧ブラケットを基に位置に戻し、ネジ4箇所を固定して下さい。

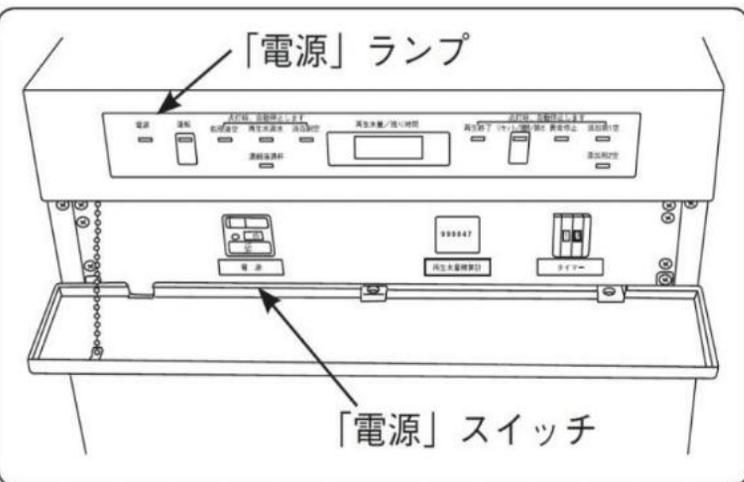
- ⑨上カバーの支え棒を固定部からはずしフックに戻します。

- ⑩上カバーをしめます。



ブラケット固定ネジ

曝気ポンプ



- ⑪電源スイッチを「入」にし、電源をONにします。  
電源が入ると「電源」ランプが点灯します。



- ⑫運転ボタンを押すと運転が開始されます。